

号外  
NO.160  
2003.12.15

**jsse**  
**日本科学教育学会**

日本科学教育学会 (Japan Society for Science Education)  
発行：木村捨雄 (国立教育政策研究所内)  
〒153-8681 東京都目黒区下目黒6-5-22  
TEL：(070)5541-6615 (専用PHS) / FAX：(03)3714-0986  
e-mail：jimukyoku@jsse.jp  
URL：http://www.jsse.jp

## 科学教育研究レター

---

### 日本科学教育学会の これからの在り方に関する検討会 (第2回) 開催案内

去る11月15日に、評議員会、顧問会、理事会の有志により学会の在り方に関する検討会が開催され、これからの学会の在り方について意見交換が行われた。(検討会の内容については次ページの検討会メモを参照。)

当日は限られた時間内に、問題点の整理と今後に対する意見の陳述までで、今後の方向性を出すところまでには至らなかった。そこで、下記により第2回の検討会の開催を企画し、広く会員全員に周知することとした。

#### 記

日時：平成16年1月10日(土)午前10時30分～午後1時30分

場所：国立教育政策研究所南館大会議室

意見提案希望者及び参加希望者は事前に事務局まで  
電子メールまたはファックスにてご連絡ください。

---

# 日本科学教育学会の これからの在り方に関する検討会（第1回）メモ

当日は、14名の参加を得て、午前10時30分から午後2時まで持ち寄られた意見提案とそれについての討論が行われました。壮大な話から細かな方策提言まで色々な話題が提供されました。提案及び討論の概要は次のように整理されます。

## 1 今後学会として取り組むべき課題は何か

### 国際的なグローバル化への対応

科学教育のカリキュラム開発、アジアに対する国際貢献、わが国を代表する学会として研究活動と普及活動の両立

小中高の教育実践を重視した研究、現場の先生や大学院生の研究や実践を育て上げる場の提供、研究者の目を現場に向けること、教育実践者と研究者の共同研究の推進、博物館・科学館等での科学教育との連携（サイエンスコミュニケーターとの連携や育成）

### 魅力ある学会作り

年会・学会誌のサービスの向上、情報提供の方法の工夫

### 他の学会や組織との関係の強化

他学会との連携、社会への提言、国際セミナーの開催、日本学術会議科学教育研究連絡委員会の活動、特定領域研究「理数科系教育」や「科学高等教育」研究への参加

### 直近の課題

理事会の在り方・持ち方、事務局の移転など

## 2 課題を解決する方策提案

### 会員の拡大

- 1)小中高の先生にとって魅力ある学会にする。
- 2)科学の専門領域の大学教官にとって魅力あるものにする。
- 3)新規会員の獲得につながる企画を練る。  
学会誌の特集、年会・研究会の企画
- 4)学会の特性が見えるような工夫をする。  
学会の目的・研究対象・関連学会と比べての特徴などを明確化
- 5)新たにパンフレットを作成したり、キャンペーンを行う

### 会員のためのサービスの向上

- 1)小中高の先生のための、発表、交流、啓蒙の場を確保する。